

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団主催講演会

六ヶ所石油備蓄基地の危険性と 核燃サイクル基地の災害？

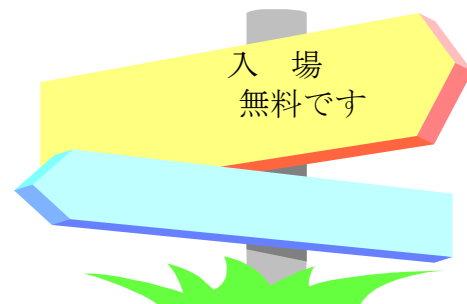
日時:2014年6月6日(金)

開場18:00 始まり18:30

会場:「アウガ」5F 研修室 青森駅前

電話 017-776-8800

講師:長崎大学教授 小川 進氏
(工学博士、PhD (農学博士))



小川 進氏 プロフィール

- ・東京大学工学博士
- ・米国コーネル大学農学博士取得

専門は多岐にわたる・・・金属・土木・水資源・米国地球物理学などの学会員としてアカデミカルな分野で研究のみならず、東京都の水道局水質センターや農林水産省研究所に勤務、実務に従事した経験あり。

福島原発事故から3年余り過ぎているにも拘らず、何ひとつ解決らしきものは見えず、放射能に汚染された水・土砂はたまる一方です。それでも、まるで福島原発事故がなかったかのように、国や電力会社は原発の再稼働に躍起となっています。

青森県内においても、大間原発・東通原発・むつりサイクル燃料貯蔵施設・六ヶ所再処理工場が操業に向けて突き進んでいます。再処理工場に隣接する石油備蓄基地の危険性について、国は「輻射熱の及ぶ範囲は380m以内で、再処理工場までは900m離れているので安全上支障はない」と主張しています。

しかし今回、小川進氏を講師にお迎えして、石油備蓄基地の火災爆発事故が再処理工場に及ぼす独自のシミュレーション事例を紹介していただき、国の主張の誤りを確認したいと考えました、さらに、「再処理工場内の火災爆発の規模」も詳しく説明していただきます。

是非、講演会に参加して、再処理工場の重大事故の恐ろしさを学び、一人でも多くの方々にその危険性を警鐘する力になればと思います。

主催・連絡先 核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団

住所 青森県八戸市根城9-19-9

浅石法律事務所内

電話 0178-47-2321

※ 原告団は1988年8月6日に結成され、今年で26年を迎えます。
講演会の翌日6月7日 午前9時半より 青森市民ホール1階で原告団の総会があります。是非参加下さい。

皆様の
ご参加をお待ちしています。

